

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はりきゆう実技4	実技	2	60	東洋医学概論、経絡経穴概論
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 2学年	久保田明美、伊藤栞里	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	附属臨床施設鍼灸(接骨)外来担当での実務から、臨床の場面での必要な知識を学びます。		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>治療に多用される五俞穴・五要穴を正確に、且つ患者の身体にあった的確な取穴が出来るようになる。 更に東洋的四診を活用して、診断・治療を安全に行うことが出来るようになる。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>東洋医学概論の「陰陽学説」「五行学説」「臓象」や、経絡経穴概論の「五俞穴・五要穴」を理解しておく事が大事。 東洋医学概論、経絡経穴概論の復習を行いながら、実技へと繋げていきます。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書: 東洋療法学校協会編 「はり・きゆう実技(基礎編)」「経穴経絡概論」</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。</li> <li>●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。</li> <li>●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。</li> <li>●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。</li> <li>●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。</li> </ul> <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	実技試験にて評価します。			
その他	0				
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		オリエンテーション 東洋医学的な治療とは		/	伊藤
2		触診法・全身観察		/	伊藤
3		原穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
4		原穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
5		原穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
6		郄穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
7		郄穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
8		郄穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
9		試験練習		/	伊藤 久保田
10		絡穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		絡穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
12		募穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
13		背部俞穴 取穴・刺鍼・施灸		/	伊藤
14		試験練習		/	伊藤 久保田
15		背部俞穴 取穴・刺鍼・施灸 吸玉療法		/	伊藤
16		腹診①		/	久保田
17		腹診②		/	久保田
18		舌診		/	久保田
19		脈診		/	久保田
20		東洋医学的問診①		/	久保田

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		東洋医学的問診②		/	久保田
22		五兪穴(手陰)取穴・刺鍼・施灸		/	久保田
23		五兪穴(足陰)取穴・刺鍼・施灸		/	久保田
24		五兪穴(手陽)取穴・刺鍼・施灸		/	久保田
25		五兪穴(足陽)取穴・刺鍼・施灸		/	久保田
26		復習		/	久保田
27		六十九難補瀉法①		/	久保田
28		六十九難補瀉法②		/	久保田
29		六十九難補瀉法③		/	久保田
30		灸頭鍼の基礎		/	久保田